

令和2年度美浜町立和田小学校(学校経営方針)スクールプラン

美浜町学校教育目標

- 生活や学習の基盤を育成し、確かな学力をつける。
- 豊かな心を持ち、たくましく生きる児童・生徒を育てる。

保護者・地域の願い

- 子どもに学力をつけてほしい。
- 優しい子どもに育ててほしい。
- 友達と仲良く、楽しく過ごしてほしい。
- 家庭学習が習慣づいてほしい。
- あいさつができるようになってほしい。

【学校教育目標】

自ら学び たくましく生きる
心豊かな子どもの育成

【めざす児童像】

- ・進んで学ぶ子 基礎学力が身に付き学ぶ意欲がある児童
- ・明るく思いやりのある子 他人を大切にし、責任感と協調性がある児童
- ・健康でたくましい子 体を鍛え、心の強さを持つ児童

前年度の学校評価

- 高い学力を維持できている。
- 落ち着いた学校生活を確保している。
- 読書量を増加できている。
- あいさつに課題がある。

児童の実態

- 落ち着いて学習できている。
- 基礎的な学力が定着している。
- 考えの発表に課題がある。
- 家庭学習の質向上が必要である。
- メディアの使い方に課題がある。
- あいさつや返事があまりできない。

重点目標

教科指導の充実

- ◎基礎・基本の確実な定着
- ◎読解力・コミュニケーション能力の向上
- 読書習慣の定着
- 家庭学習の定着

心の教育の充実

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止・早期発見・早期対策
- ◎特別支援教育の充実
- あいさつの励行

健康・安全教育の推進

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎危機回避能力の育成

地域に開かれた学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
- 地域の資源活用推進

具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条(きのくに学習スタンダード)」の徹底
- 補充学習の確保
- 言語活動の充実
- 主体的・対話的な学びを実現する授業研究
- 読書環境の整備と読書指導の充実
- 家庭学習がんばり週間の設定

- 考え議論する道徳の実践
- いじめアンケートの年間3回実施及び事後指導
- 情報モラルおよびネット社会の危険性についての研修実施
- ノーメディアデーの実施
- 特別支援学級児童への理解促進
- 合理的配慮の実施
- 学級活動や全校集会でのあいさつの励行

- 夏季休暇中の水泳指導
- 全校マラソンの実施
- 全校なわとびの実施
- 「早寝、早起き、朝ごはん」や家事手伝いの推奨
- 避難訓練の実施
- 交通安全教室の実施

- 学校便りの発行【くすの木】
- 町広報紙への記事掲載
- 授業や行事等の積極的な公開
- 保幼小中連携の推進
- ゲストティーチャーの招へい
- 福祉施設等との交流推進

指標

- ・全国学力・学習状況調査、県学習到達度調査の正答率が全国平均や県平均を上回っている。
- ・児童アンケートで60%以上の児童が意見発表について肯定的な回答をしている。
- ・1~4年で年間50冊、5~6年で年間1万ページを読む児童が50%以上となっている。

- ・学校が楽しいと感じる児童の割合が90%以上となっている。
- ・いじめの解消率が100%となっている。
- ・障がい児者認識学習を年1回以上実施している。
- ・外部の評価で児童があいさつをできるという評価が70%を上回っている。

- ・なわとび検定で前年以上の段級となっている児童が70%を超えている。
- ・朝ごはんを食べている児童の割合が100%となっている。
- ・必要に応じた避難訓練を年3回以上実施している。

- ・保護者アンケートで学校と家庭地域との連絡が緊密にできている割合が80%以上となっている。
- ・教師アンケートで町内の保幼小中で連携した取組を具体的に実践した割合が90%以上となっている。
- ・ゲストティーチャーの招へいが各学年1回以上となっている。

◎：特に重点的に取り組むこと